

ちょっと読んでみませんか（令和七年秋彼岸）

第78話『智情意（ちじょうい）』 ～本源寺住職 本間健司

本源寺のある白糸原地区では、古来地域の守り神として『文殊菩薩（もんじゅぼさつ）』を信仰してきた歴史があり、その文殊菩薩をお祀りしている「文殊堂」の境内において、毎年お盆過ぎに、文殊祭典を開催しています。祭典においては手筒花火が壮大に上げられ、毎年花火ファンが多く訪れます。

祭典において、『文殊菩薩』への法味言上（ほうみごんじょう）（読経お題目を唱えて祈りを捧げること）という大切な役割を本源寺が担わせて頂いており、今年からは私がお伺いすることになりました。

文殊菩薩は、仏教において「智慧（ちえ）」を司る菩薩とされていて、「三人寄れば文殊の知恵」ということわざは皆様もよく御存知だと思えます。

「智慧」と似た言葉に「知識」がありますよね。

「知識」は文字通り、物事について知って記憶していることであるのに対して、「智慧」というのは“物事の表面にとらわれず、その奥底にある真理や本質を見抜く力”のことで、悟りを得るために不可欠な能力とされています。

また「智慧」は、私たちが生活や仕事において物事を良い方向に進めていこうとする時にも必要な力であることから、その能力を少しでも文殊菩薩様から授かりたい、という祈りを込めて、当地で信仰されてきたのでしよう。

以前ある本で、物事を為す時には、「智慧」を含め三つの要素を意識して取り組むことが大切だ、ということを読んだことがあります。それは、

一、【智】（ち）＝智慧。流行や常識にとらわれず、物事の奥にある真理や本質を見抜くこと。

二、【情】（じょう）＝人（物）への感謝や思いやり、優しさを忘れないこと。

三、【意】（い）＝物事を実践に移すための勇気・熱意、やり抜く覚悟や根性を持つこと。

たしかに、お釈迦様や日蓮聖人を思い浮かべてみても、この三要素を確かに持つていらつしやるなど実感しますし、松下幸之助さんや稲盛和夫さんのような偉大な経営者たちにも当てはまっていることは誰でも納得できると思います。

また、本年六月に逝去された元巨人軍の長嶋茂雄さんに関する記事が月刊『致知』に掲載されていましたが、彼も三要素を備えた真のスターであったことを改めて実感しました。以下、元側近であった小俣進さんの手記より

(監督の手記より)お客さんにはいいものだけをお見せする。暗い隠れた部分は絶対に見せるもんじやない。これがプロの姿勢です。スターと言われる人達には、それなりの試練や努力というものがあるわけでしょ。しかし、その裏の動きみたいなものは絶対、表に出しちゃいけない。われわれは表のいい面、いわゆる格好良さだけを見せれば、それでいいんですよ。【智】

監督は激しいメディアの取材要請に対しても嫌な顔一つせず真摯に応じました。それはテレビの向こう側にいる何百万人というファンに直接声を届けたい、という想いからでした。また監督は裏表のないフランクな人柄で、他人の悪口をとでも嫌いました。相手が有名な野球選手であろうが、名もない少年野球チームもメンバーであろうが、誰にも対しても同じ目線で接し、語り合いました。

【情】

監督が努力、挑戦の人であることを何よりも強く感じたのは二〇〇四年三月、六十八歳の時に脳梗塞で倒れた後の驚くべき執念でした。

主治医の診断は「重症で、歩くことは恐らく困難でしょう」というものでしたが、間近に迫ったアテネ五輪で何としても指揮を執るんだ、という目標が監督を突き動かしたのでしょう。僅か四日目にはベッドから起き上がり、一ヶ月ほど歩けるまでになったのです。それは奇跡とも言える回復力でした。さらに「俺の目標は走ることなんだよ」と語り想像を絶するリハビリにも耐え抜いたのです。

【意】

私にとつての長嶋さんは「楽天的で野球の才能に恵まれた天才」という印象でしたが、その裏には、長嶋茂雄独自のプロとしての智慧が、人情が、熱い情熱が隠されていたんですね。

スターとは少し異なりますが、来月四日には自民党総裁選が予定されています。一国を率いていくリーダーを選ぶわけですから、やはり【智情意】の三要素の視点から候補者を見てみるのも興味深いかも知れませぬ。

もちろん完璧な人などいませんが、少しでもバランスの取れた方にリーダーになって頂き、日本の未来を託せることを願います。

これからの日本は、政治においても、地域や身近な生活においても、大きな変革が必要であるとされています。しかし、変革によって本当に大切なもの・残すべきものを失ってしまうことは避けていかなければなりません。

周りに流されたり、情報を鵜呑みにして、物事の本質を見失っていないだろうか：

頑張ってくれたり、支えてくれている人や物にきちんと感謝しているだろうか：

周りの評価を気にしたり、失敗を恐れすぎてしまい、実行できずにいないだろうか：

『智情意(ちじょうい)』の三つの視点が、これから行動を起こそうとする方々の参考と力になれば幸いです。

共に、前向きに取り組んで参りましょう！

合掌 南無妙法蓮華經